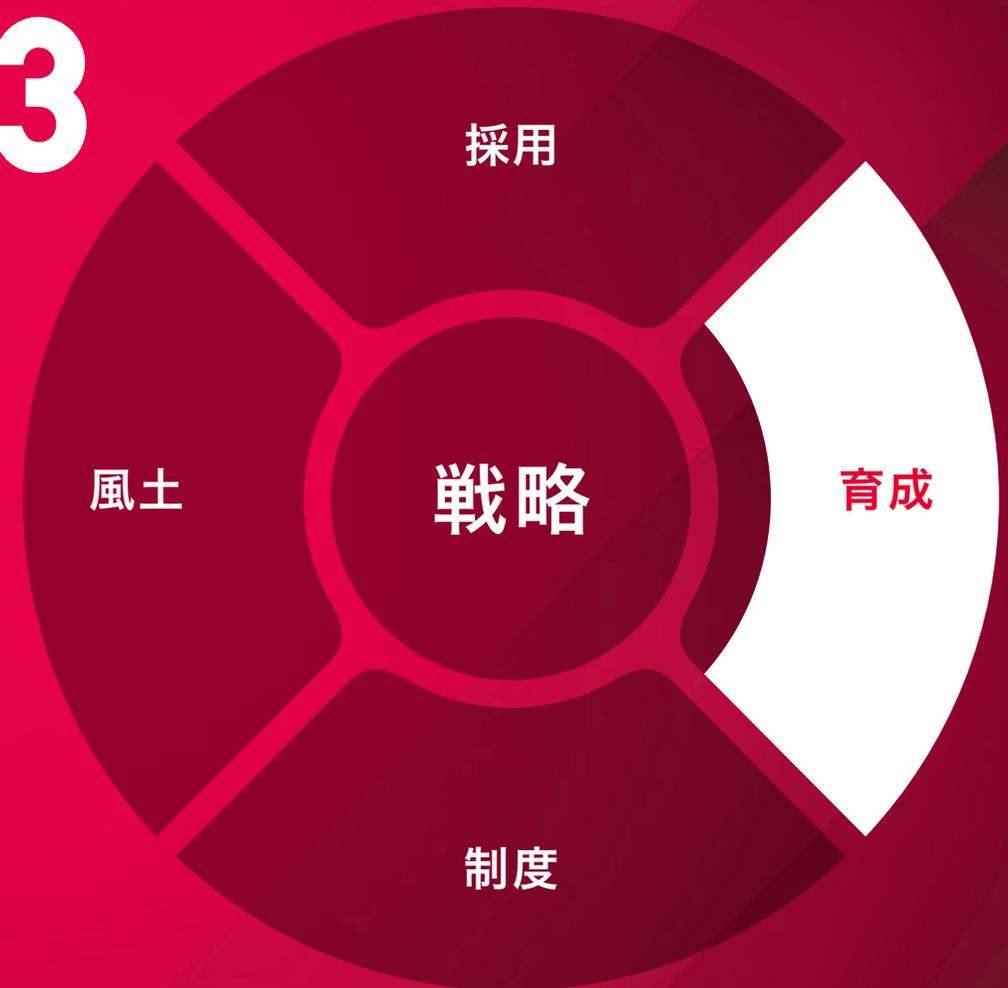


CHAPTER 3

TRAINING 育成



アイコンパニーを育む

組織力・人材力を高めるための大切な要素の一つが「自立的な人材の育成」です。私たちは、自立的にキャリアを構築するために「アイコンパニー（自分株式会社）」の経営者としての視界を大切にしています。自分株式会社の経営者という立場で考えてみることで、自分株式会社の顧客・パートナー・競合という視点で自分の現状を客観的に捉えることができ、周囲からの期待や自社の強み・課題を的確に捉えることができます。このように考えていくことが、自立的・主体的な自分自身のキャリア形成につながると考えています。

だからこそ、当社グループでは、従業員ひとりひとりがアイコンパニーを育む機会を豊富に提供しています。当社グループの人材育成機関である「LMカレッジ」によって、社会人に求められるスキル全般について、周囲からの期待を踏まえながら能力を鍛える機会を提供しています。

同時に、会社として持続的に成長していくための次世代経営者育成においても、2021年より新たなプログラムを実施しています。会社として成長を加速させるタイミングだからこそ、会社の拡大成長を支える人材の輩出に注力しています。

CHAPTER 3 | 育成

01 会社の未来を支える経営人材を育む

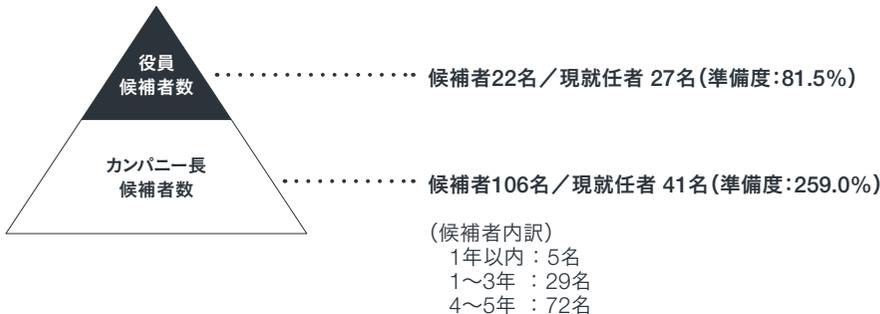
経営人材育成施策「TOP GUN SELECTION」

選抜型の育成プログラム(一部抜粋)

MENU 1 提案大会 <small>取締役に対する テーマ別プレゼンとフィードバック</small>	MENU 2 サーベイ研修 <small>当社グループ代表 小笹との 課題設定・目標設定</small>	MENU 3 会食 <small>当社グループ代表 小笹との さまざまな角度での視界共有・懇親</small>
---	--	---

階層	目的	参加者数(名)	
		2021年	2022年
執行役員	執行役員としてのレベルアップ	—	5
カンパニー長・管理職	将来の役員候補の育成	10	14
メンバー	次期マネジャー候補の育成	6	6

経営人材準備数 (2022年12月末時点)



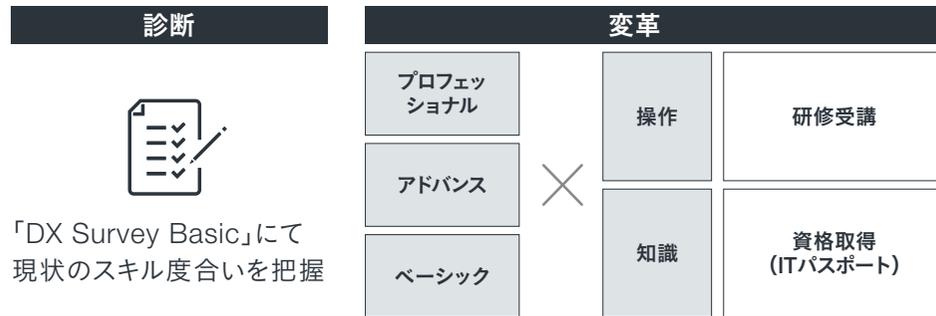
非連続な企業成長を実現するため 商品・労働・資本市場に適応する人材を育成する

事業の拡大・成長において、組織を牽引する経営人材の育成は不可欠です。当社グループの経営人材には、「商品・労働・資本市場の3市場に適応できること」「グループ全体の視界で考えられること」を求めています。日々の業務では「商品市場への適応」「担当領域の視界」になってしまいがちです。そのため、実業を離れた成長機会として、2021年より、選抜型での育成施策「TOP GUN SELECTION」を実施しています。メンバーから上級管理職まで各層から参加者を選抜し、1年間を通して経営者として持つべき視界や考え方を学ぶプログラムとなっています。

2022年は、全階層を合わせ25名の育成を行いました。参加者からは、「経営に向き合う覚悟と基準の違いに気づいた」「あらためて未来をつくる当事者でありたいと強く思えた」といった感想が寄せられ、将来の経営人材を育むことができていると考えています。

CHAPTER 3 | 育成

02 時代に合わせてリテラシーをアップデートする



DXサーベイ結果

	単位	2021年	2022年
受講者数	名	1,367	1,499
DXスコア	点	98.9	123.3

※DXスコアとは「デジタルナレッジスコア」と「Excelスキルスコア」の合計であり、それぞれ100点を満点としているため、200点を満点としている。

レベル別 受講研修一覧

対象レベル	研修
プロフェッショナル	Excel応用、PowerPoint応用、Python、AI、RPA、GAS、HTML・CSS、SEO対策 など
アドバンス	
ベーシック	Excel基礎、PowerPoint基礎、タイピング基礎 など

生産性向上を目指し 時代に合わせてリテラシーをアップデートする

業界・業種を超えて求められる外国語・ITなどの技術や能力を「リテラシー」と呼んでいますが、「リテラシー」は時代に合わせてアップデートする必要があると考えています。これは「**リスキリング**」と同様の考え方であり、求められるスキルの変化に合わせて、必要なスキルを獲得し続ける必要があります。

昨今では、組織としての生産性を高めるために、**従業員ひとりひとりのITリテラシーの向上**が不可欠です。そのため、個人開発Divisionで提供している企業内個人向けDX支援施策を2021年より当社グループ内でも展開し、個人のITリテラシー向上に取り組んでいます。

個人のIT知識やIT操作の習熟度を測るサーベイ「DXサーベイ」の結果(DXスコア)において、2022年の**当社グループの平均は123.3/200ポイント**であり、目標としていた110ポイントを上回る結果となりました。

今後も引き続き、時代に合わせたひとりひとりのリスキリングを推進することで、さらなる生産性の向上に取り組んでいきます。